

科目名 (科目番号)	臨床医学総論 (循環器学) (時間割参照)	教員名	小室安宏	学科等	医療技術	必修	履修年次	2
				曜日・時限等	時間割表参照		単位数	2
				授業形態	講義	オフィスアワー		
授業概要	種々の疾患の理解に必要な基礎的な医学的知識を習得する。心血管系にまつわる心不全の病態・治療について学ぶ。さらに循環器系疾患の病因、病態、徴候、診断、治療などについて学ぶ。すなわち刺激伝導系の異常に伴う不整脈、虚血性心疾患と心電図、動脈硬化と血圧異常および先天性心疾患（弁膜症を含む）について学ぶと共に冠動脈疾患などの治療に用いるPCIやステント、アテレクトミー等の各種インターベンションの方法や各種除細動装置の適用疾患などについて学ぶ。							
目的・目標	目的:人工心肺や補助人工心臓、ペースメーカによる治療の対象になる循環器疾患を学習する。 目標:①心・血管系の解剖と生理を理解する、②先天性心疾患、弁膜症、心不全、冠動脈疾患、不整脈などの病態生理と治療法を学ぶ、③心臓ペースメーカについて学習する、④循環器疾患の診断のための検査法を学習する。							
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。							
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容					
	1	心臓・血管の構造・機能	到達目標:心臓・血管の構造・機能について理解する 学習内容:心臓・血管の構造・機能について					
	2	先天性心疾患①	到達目標:先天性心疾患のうち非チアノーゼ性心疾患について理解する 学習内容:先天性心疾患のうち非チアノーゼ性心疾患について					
	3	先天性心疾患②	到達目標:先天性心疾患のうちチアノーゼ性心疾患について理解する 学習内容:先天性心疾患のうちチアノーゼ性心疾患について					
	4	後天性心疾患①	到達目標:弁膜症の概念・診断法・治療などについて理解する。 学習内容:弁膜症の概念・診断法・治療などについて					
	5	後天性心疾患②	到達目標:虚血性心疾患の病態・診断・治療などの概略について理解する。 学習内容:虚血性心疾患の病態・診断・治療などの概略について					
	6	後天性心疾患③	到達目標:心筋症、心筋炎の病態・診断・治療などの概略について理解する 学習内容:心筋症、心筋炎の病態・診断・治療などの概略について					
	7	体外循環(人工心肺)①	到達目標:人工心肺の概略について理解する 学習内容:人工心肺の概略について					
	8	体外循環(人工心肺)②	到達目標:補助循環装置の概略について理解する 学習内容:補助循環装置の概略について					
	9	後天性心疾患④	到達目標:不整脈の病態・診断・治療などの概略について理解する。 学習内容:不整脈の病態・診断・治療などの概略について					
	10	後天性心疾患⑤	到達目標:ペースメーカについて理解する。 学習内容:ペースメーカについて					
	11	後天性心疾患⑥	到達目標:心不全、その他の心疾患について理解する 学習内容:心不全、その他の心疾患について					
	12	血管病学①	到達目標:高(低)血圧、動脈硬化症などの血管病の病態・診断・治療などの概略について理解する。 学習内容:高(低)血圧、動脈硬化症などの血管病の病態・診断・治療などの概略について					
	13	血管病学②	到達目標:大動脈瘤、解離性大動脈瘤、閉塞性動脈硬化症、閉塞性血栓血管炎などの血管病の病態・診断・治療などの概略について理解する。 学習内容:大動脈瘤、解離性大動脈瘤、閉塞性動脈硬化症、閉塞性血栓血管炎などの血管病の病態・診断・治療などの概略について					
	14	血管病学③、リンパ管疾患、外傷	到達目標:血栓・塞栓、動静脈瘻、上大静脈症候群、静脈血栓症、肺動脈血栓塞栓症、下肢静脈瘤、リンパ管疾患、外傷などの概略について理解する。 学習内容:血栓・塞栓、動静脈瘻、上大静脈症候群、静脈血栓症、肺動脈血栓塞栓症、下肢静脈瘤、リンパ管疾患、外傷など					
15	まとめ	到達目標:循環器系疾患と対象となる検査・治療についてまとめ、その要点を理解する。 学習内容:循環器系疾患と対象となる検査・治療について						
成績評価の方法・基準	対面・オンライン共通:期末試験(100%)							
教科書	臨床工学技士標準テキスト(第4版)		小野哲章			金原出版		
参考図書								
教員からのメッセージ	授業計画に変更がある場合は、変更のシラバスを周知します。							